

阪神大震災震害調査

緊急報告会資料

登録	平成 7 年 3 月 22 日
番号	第 42795 号
社団法人	土木学会
附属	土木図書館

社団法人 土木学会

速報

兵庫県南部地震被害状況報告

平成7年1月17日午前5時46分ごろ、淡路島北部（北緯34.6度，東経135.0度）を震央（震源の深さ約20km）とするマグニチュード7.2の直下型地震が近畿地方を襲い、多くの死傷者を出すなど、各地に甚大な被害をもたらしました。
ここでは速報として、土木構造物を中心とした主な被害状況について写真でご報告します。
土木学会誌編集委員会

高速道路

〈阪神高速道路3号神戸線・神戸市東灘区〉



〈阪神高速道路3号神戸線・西宮市西宮インター付近〉



兵庫県南部地震の被災地の皆様には心からお見舞申し上げます。一日も早く復旧されますようお願い申し上げます。

平成7年1月 社団法人 土木学会

〈阪神高速道路3号神戸線・西宮市西宮戒神社附近〉



〈名神高速道路・西宮市西宮バリア附近〉



〈阪神高速道路5号湾岸線・西宮市西宮大橋〉



新幹線

〈山陽新幹線・伊丹市野間〉



〈山陽新幹線・尼崎市下食満〉



〈山陽新幹線・西宮市上中市〉



在来線

〈東海道線・神戸市六甲道～灘間〉



〈東海道線・神戸市住吉～六甲道間〉



〈阪神電鉄・神戸市東灘区石屋川車庫〉



〈阪神電鉄・神戸市東灘区御影留置線〉



〈阪神電鉄・神戸市新在家～石屋川間〉



〈阪神電鉄・神戸市灘区大石～新在家間〉



〈阪急電鉄・伊丹市伊丹駅〉



港ほか

〈コンテナバース・神戸市六甲アイランド〉



〈コンテナバース・神戸市ポートアイランド〉



〈神戸大橋ポートターミナル取付部・神戸市〉



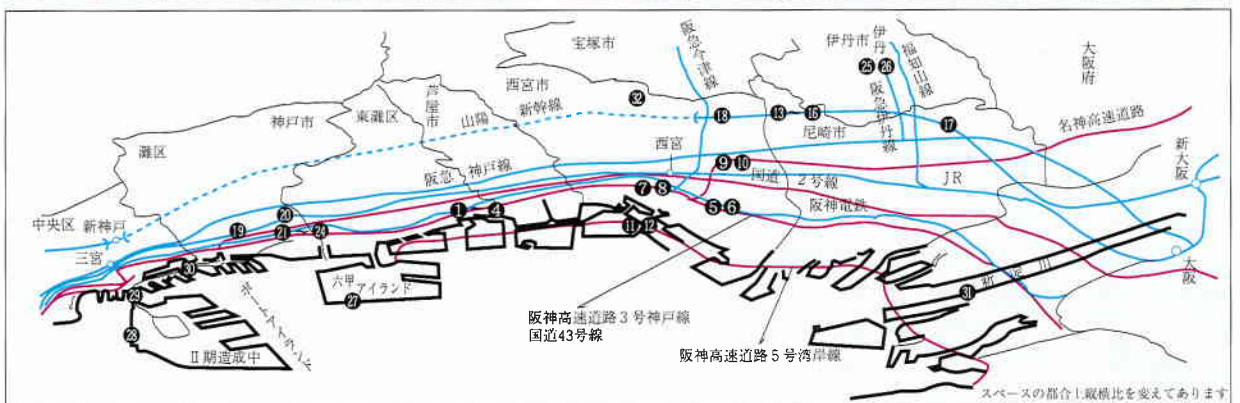
〈摩耶大橋・神戸市〉



〈新淀川河口附近・大阪市此花区西島〉



〈地すべり・西宮市仁川〉



写真提供 No.1.13.25 アジア航測(株), No.21.22.23.24 運輸省・阪神電気鉄道(株), No.17.18.19.20 運輸省・西日本旅客鉄道(株), No.28 運輸省, No.29 国土庁
 ※「速報」掲載のため、2月号の発行が遅れましたことをお詫びいたします。

はじめに

土木学会は、1月17日早朝に発生した兵庫県南部地震によって土木構造物ならびに各種都市機能が甚大な被害を受けたことを極めて深刻に受けとめ、その原因の究明と今後の耐震、防災対策に資することを目的に即刻調査団を組織し、現地へ派遣いたしました。まず、地震発生翌日には、田村重四郎耐震工学委員会委員長（日本大学教授）を団長に、耐震工学、構造力学の研究者を主とする第一次調査団を派遣し、土木構造物全般の被害状況を緊急に調査いたしました。つづいて、1月22日には中村英夫（東京大学教授）を団長とする第二次調査団を組織し、鉄道、道路、港湾、ライフライン等の各種施設や機能の被害、復旧の状況を総合的に調査いたしました。

本報告会は、以上の一次、二次の調査団の調査結果の概要を緊急に報告するものであります。もとより、被害は広範にわたっており、今後の一層の詳細な調査、分析なくして結論づけられないことも多々あることは言うまでもありません。また、ここに示される見解も、調査団の個々のメンバーの独自の意見であるものも少なくありません。しかし、調査団としての調査結果と見解を早急に示すことが学会としての現在の務めであると考え、この度の緊急報告会を催した次第です。

被災、復旧状況の継続的な調査を進めるため、2月1日に第三次調査団（団長：松尾稔名古屋大学教授）を派遣いたしました。土木学会としては、この第三次調査団及びこれに続く調査団の調査結果も可能な限り速やかに報告するつもりであります。今後より詳細かつ体系的な調査、分析を進め、これらを集大成して「阪神大震災調査報告書」をまとめ、国内外に公表したいと考えております。

土木学会は、会員の総力を挙げ、この度の震災の復旧、復興事業、ならびに今後の地震災害の軽減に寄与すべく、最大限の努力をする決意であります。各位の御尽力、御支援の程、切にお願い申し上げます。

1995年2月8日

土木学会会長
中村英夫

阪神大震災調査緊急報告会資料 目 次

・はじめに

・第1次調査団報告（団長 田村重四郎・日本大学生産工学部 教授）

- (1) 地震動 p 5
土岐 憲三（京都大学）
- (2) 臨海地域の地盤災害 p 13
石原 研而（東京大学）
安田 進（東京電機大学）
- (3) コンクリート構造物の被害 p 19
町田 篤彦（埼玉大学）
- (4) 鋼構造物の被害 p 27
家村 浩和（京都大学）
井上 晋（京都大学）
五十嵐 晃（京都大学）
伊津野和行（立命館大学）

・第2次調査団報告（団長 中村英夫・東京大学工学部 教授） p 39

- (1) 鉄道グループ調査報告 p 43
家村 浩和（京都大学）
北田 俊行（大阪市立大学）
三木 千寿（東京工業大学）
森地 茂（東京工業大学）
家田 仁（東京大学）
- (2) 道路グループ報告 p 53
① 交通
森 康男（大阪大学）
飯田 恭敬（京都大学）
谷口 栄一（京都大学）
新田 保次（大阪大学）
宇野 伸宏（京都大学）
② 構造物関連
藤野 陽三（東京大学）
伊藤 義人（名古屋大学）
大賀 宏行（東京都立大学）
- (3) 港湾・空港・河川グループ調査報告 p 73
今本 博健（京都大学）
黒田 勝彦（神戸大学）
後藤 芳顕（名古屋工業大学）
榎木 亨（大阪大学）
長井 正嗣（長岡技術科学大学）
- (4) 都市施設グループ報告 p 85
浅野 光行（早稲田大学）
國島 正彦（東京大学）
黒川 洸（筑波大学）
細井 由彦（鳥取大学）
松井 三郎（京都大学）